

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月02日

計画の名称	姫路市における鉄道駅周辺のにぎわいあるまちづくり											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和03年度 (3年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	姫路市											
計画の目標	大目標：安全・安心でにぎわいある、地域のつながるまちづくり 目標1 緑豊かで誰もが安全、安心して暮らせるまちづくり 目標2 スポーツを活かした市民交流のまちづくり 目標3 公共交通を活かした多核連携のまちづくり											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	486	A	486	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	-	H33末
1	鉄道(山陽電鉄)による公園利用者の割合を3.7%(H26)から4.7%(H33)に増加させる。 公園利用者を対象とした対面式でのアンケート調査における交通手段において、山陽電鉄と回答した割合を計測する。	37×0.1%	×0.1%	47×0.1%
2	中央体育館と姫路球場間の移動所要時間を3.5分(H30)から2.0分(H33)に短縮させる。 中央体育館と姫路球場間の移動所要時間を計測する。	35×0.1分	×0.1分	20×0.1分
3	手柄山中央公園全体(閉鎖予定の文化センター、手柄山遊園を除く)の利用者数を1,192,779人(H28)から1,252,400人(H33)に増加させる。 手柄山中央公園全体(閉鎖予定の文化センター、手柄山遊園を除く)の利用者数を計測する。	1192779人	人	1252400人
4	道路交通における死傷事故を平成26年と比較して約1割削減する。 姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。	4034件	件	3630件
5	公共交通乗車人員を平成26年と比較して9%増加させる。 姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。 (市内の鉄道・バス1日平均乗車人員) = (市内の鉄道・バス年間乗車人員) / (当該年度の日数)	156102人/日	人/日	170734人/日
6	JR網干駅乗車人員を平成27年(7,627人)と比較して約2%増加させる。 JR網干駅の鉄道乗車人員を測定する。	7627人/日	人/日	7780人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	手柄山中央公園周辺地区 都市再生整備計画事業	東エントランスゾーン、ペデ ストリアンデッキ、情報板 A=61.9ha	姫路市						282	1.2	-	
												小計						282		
道路事業	A01-002	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	区画	改築	JR網干駅前地区((都) 網干線ほか1路線)	区画整理 A=5.0ha	姫路市						189		-	
												小計						189		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	JR網干駅前都市再生区画 整理事業	区画整理 A=5.0ha	姫路市						15		-	
												小計						15		
										合計							486			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	令和5年8月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	JR網干駅の利用者についてはH29当初現況値7,627人/日に対して、R3(H33)末数値(R3乗車人員)6,308人/日であり、約17%の減少となっている。 手柄山中央公園全体の利用者については、H29当初現況値1,192,779人/日に対して、R3(H33)末数値727,371人/日であり、約39%の減少となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
本計画は、事業が未完了であったこともあり、指標は目標未達であったが、「都市再生整備計画(手柄山中央公園周辺地区)」、「都市再生整備計画(JR網干駅周辺地区)」及び「姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現」において、事業継続し、事業効果の発現および指標の達成を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標 公園利用者を対象とした対面式でのアンケート調査における交通手段において、山陽電鉄と回答した割合を計測する。	東エントランスの整備が事業途中であったため目標未達であったが、継続事業により引き続き目標達成を図っていく。
	最終目標値	
	最終実績値	32 × 0.1%
2	指標 中央体育館と姫路球場間の移動所要時間を計測する。	
	最終目標値	
	最終実績値	20 × 0.1分
3	指標 手柄山中央公園全体（閉鎖予定の文化センター、手柄山遊園を除く）の利用者数を計測する。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による外出自粛要請により影響があった。
	最終目標値	
	最終実績値	727371人
4	指標 姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。	道路整備と共に啓発活動にも取り組んだことなどから目標達成できた。
	最終目標値	
	最終実績値	2249件
5	指標 姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。（市内の鉄道・バス1日平均乗車人数） = （市内の鉄道・バス年間乗車人数） / （当該年度の日数）	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による外出自粛要請により影響があった。
	最終目標値	
	最終実績値	133920人 / 日



# 【参考図面】 完了箇所図

計画の名称	姫路市における鉄道駅周辺のにぎわいあるまちづくり		
計画の期間	平成31年度	～	令和3年度（3年間）
	交付対象	姫路市	

